

JP101 片野鴨池 (かたのかもいけ)

石川県：加賀市

位置	N 36° 19′ E 136° 18′
面積	100ha

環境構成【開放水面／湿生草原】

片野鴨池は海面の低下と陸地の隆起、流水の浸食によって形成された谷に水がたまって出来た場所で、ヒシやマコモ、ヨシといった水生植物が繁茂し、その周辺には松林、竹林等が広がっている。

江戸時代以降、春から夏にかけて水位を落とし、全体の面積の 3 分の 2 以上を水田として用いてきたため、湿地としての環境が維持されてきた。しかし、減反と高齢化によって水田耕作が行われなくなり、ヨシやウキヤガラが繁茂するようになった結果、植物遺骸の堆積により池が浅くなり、遷移も進行している。秋にはガンカモ類が利用する開水面を確保するため、地元住民らによる抽水植物の刈り倒しが行われている。

また、周辺からの土砂の流入も、池の水深が浅くなることに拍車をかけている。



写真：田尻浩伸

選定理由

A1 トモエガモ

A4i マガン

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（片野鴨池）、国定公園（越前加賀海岸国定公園）、自然環境保全地域

<その他>

ラムサール条約登録湿地、東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ参加地、県指定天然記念物片野の鴨池

保全への脅威

・土砂流入水質汚染

- ・外来生物（アライグマ）による生態系の攪乱
- ・マガンの採餌飛行経路付近における風力発電施設建設
- ・周辺の餌場環境（水田環境）の変化

保全活動

- ・環境管理：
 - 水田環境の維持（加賀市、鴨池観察館友の会）
 - ヨシの刈り取り（大聖寺捕鴨猟区協同組合）
- ・環境教育活動：
 - 観察会等の普及活動（加賀市鴨池観察館）
 - 坂網猟の普及（大聖寺捕鴨猟区協同組合）
- ・モニタリング調査：
 - ガンカモ類の調査（加賀市鴨池観察館、日本野鳥の会石川、日本野鳥の会福井県）
- ・その他：
 - 冬期間の鴨池への立ち入り監視など（大聖寺捕鴨猟区協同組合）
 - 鴨池の保全・活用についての議論（片野鴨池周辺地域保全整備連絡協議会）

見られる鳥

片野鴨池及び周辺の山林では、約 210 種の鳥類が確認されており、秋から冬、春にかけてはガンやカモ等、数千羽の水鳥が羽を休める。

留鳥	ダイサギ、アオサギ、カルガモ、ミサゴ、トビ、キジ、キジバト、コゲラ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロなど
夏鳥	チュウサギ、コサギ、ハチクマ、サシバ、ジュウイチ、カッコウ、ツツドリ、ホトギス、ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、サンショウクイ、コマドリ、クロツグミなど
冬鳥	サンカノゴイ、マガン、ヒシクイ、コハクチョウ、マガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、オジロワシ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、クイナ、オオバン、タシギ、アオゲラ、アカゲラ、キレンジャク、ヒレンジャク、ルリビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、キクイタダキ、ヒガラ、カシラダカ、ミヤマホオジロなど
旅鳥	シマアジ、ノゴマ、マミチャジナイ、ノジコ
迷鳥	アカガシラサギ、ムラサキサギ、コウノトリ、ヘラサギ、シジュウカラガン、コクガン、ハイロガン、カリガネ、ハクガン、サカツラガン、アカツクシガモ、ツクシガモ、アメリカヒドリ、オオホシハジロ、ケアシノスリなど

関連団体・自治体・施設等

- ・加賀市鴨池観察館
- ・日本野鳥の会石川



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeCBASE, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community